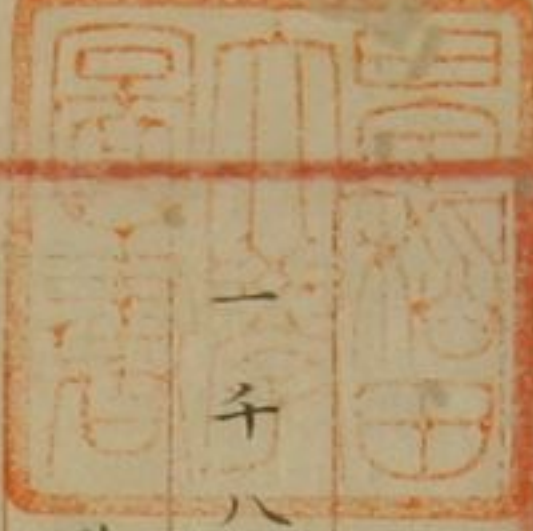


114
A 751



第九号ノ音信ニ添タル新聞

一千八百八十一年一月十三日刊行「ポストン」ジョーナル新聞抄譯

峯源次郎譯

大正十一年四月
天候爵郵寄贈

夫レ國會ノ國會タルヤ現今重要ナル内外ノ問題ニ付テハ一分時間ト雖モ注意ヲ要セサルヘカラサルナリ若シ暫時ニテモ之レヲ等閑ニ付スルカ如キコアラハ我國商業上ニ於テ其利害ノ関スル所鮮少ナラサルナリ今ヤ我國ハ著明ノ隆盛ナレハ其産物ヲ販賣スヘキ市場ヲ擴張スルヲ以テ第一ノ要用トスヘキ時機ニ至ルハ復タ蔽フヘカラサルノ事件ナリ我國將來ノ贏利ヲ享クヘキ端緒ヲ為シタル英國ノ例ヲ引用スレハ便利ナルヘシ曾テ英國ノ外國ニ於ケル重ナル政策ハ其巨大ナル貿易ヲ保護スルヲ以テ是レ蓋シ英國ハ貿易ノ線路ニ憑テ地球上



人民ノ住居ノ所ハ何レモ貨物ヲ運搬シ熱心盡カシテ
終ニ巨大ノ貿易ヲ爲ス。至リシナリ。右ノ目的ノ爲ニ採
用シタル貿易ノ中ニ最モ巨大ノモノアリ。而シテ近年迄
ハ十分方向ヲ此点ニ向ケタリ然レモ過シ十ヶ年ノ内ハ
右ノ貿易ハ十分ノ好果ナカリシナリ大英國ノ此方法ハ
未開ノ人民ト雖モ之レヲ察知スルヲ得ルノ情勢ニ赴ケ
リ而シテ其企圖ハ今ヤ遠隔セル國人等ノ好マサル所ト
ナレリ例之ハ其貿易ノ根據ナル位置ヲ得ント殊ニ熱望セ
ル所ハ東方亞細亞ニ於テ英國ノ親近ヲ忌マレテ其交際
ヲ隆盛スヘキ企圖ニ於テ現ニ悉ク嫌避セラレタリ此ノ故
障ノ東方ニ於ケルヤ曾テ諸種ノ外國人交際上ニ在テハ
一回其障礙アリタレモ其後断テ之レアルトナシ然レモ
英國人ノ交際ニ在テハ今日右ノ障礙アルヲ見ルナリ然

乙乙

レモ自餘ノ政府ヨリノ懇親ナル告示ハ敢テ拒絕セラレ
サルヘシ故ニ若シ其國ノ憲法以テ信ヲ天下ニ取ルニ足
ルヘキ所ノ政府ヨリシテ其保佐ノ義ヲ申込ムトアラハ
感激ノ情ヲ以テ同意ノ承諾ヲ承ケンコト疑ナカルヘシ之
レヲ平正ノ言語ヲ以テ詳説スレハ若シ合衆國ノ政府并
ニ人民カ東洋地方ノ諸國民ト懇篤ニ親密ナル貿易上ノ
聯合ヲ開設セント欲セハ合衆國ハ一時東方ノ位置ヲ占
有支配シテ自カテ是レヨリ生スル所ノ貿易利益ノ占有
者トナルヘシ従前ハ決シテ斯ノ如キ容易ノ機會ハ我米
國ノ手ニアラサリシナリ故ニ假令英國カ死物狂ニ其驚
鳥ノ威力ヲ保有センコトヲ争フモ余輩ハ獨リ我カ冀望ヲ
果タルヘカヲサナシ即チ右ハ我米國ノ利タルヤ明
白ナルヘシ是レ右ノ一過ナリ然レハ我合衆國ハ

奮發進取
ト
リニニハ米國
依
ル國ノ困難
ナルヲ顧ミス
而シテ我カ商業ノ大敵ナル或ル國ノ利益トナルヲ袖手
傍觀スヘキヤ如何

然レハ此ノ前途見込アル運命ヲ保護スル為ニハ何等ノ
事ヲ為スヘキヤ又々如何ノ處置ニ據ルヘキヤト疑問
起ルヘキハ是レ又々自然ノ情勢ナリ此問題ニ答フルハ
蓋シ易ダノミ即チ總テ東方國民ハ一般ニ速ニ合衆國ノ
發意ニ應スルノ覺悟アルノミナラス尚ホ又々米國ヨリ
申シ込メハ東方地方ノ内ニ於テ殊ニ進歩シタル國民ノ
勇敢敏捷ナル同心協力ヲ得ヘシ日本ノ望ム所ハ米國ノ
友視同盟ヨリ善キハナシ然リ而シテ日本ハ之ニ因テ
亞細亞ノ進歩ニ於テ先鞭ヲツケ先導者トナリ懶怠ナル

東方ノ國民ヲ警覺スルヲ以テ已レノ任トヤル事業ヲ施
行シ而シテ米國ノ正心誠意ノ補助ニ依テ其隣國ヲシテ
一同ニ貿易通信セシメ其自由ニ合同セシムルノ利益ヲ
起サント欲スルナリ此事業ヲ了解スルカ故ニ日本ハ外
強國中ノ一ヶ國ヨリシテ慫慂勸奨ヲ得ルノ必要ナルヲ
覺知スルヲ見ル而シテ久シク經驗セシ上ニテ日本ハ終
ニ獨リ一ヶ國ヨリノミ其真實厚意ノ勸奨ヲ得ルヲ冀シ
得ルナルヘシ日本カ自カラ為ル有ルノ志ヲ鼓舞シテ情
癡セルハ相違ナカルヘシ其舉動ノ中ニモ其固有ノ安寧
幸福ノ為ニ已ムヲ得サルモノアリ是レ蓋シ歐洲人ノ為
ニ強奪ノ壓制ヲ受クルカ故ニ今日其國勢ノ隆替如何ヲ
顧シテ自カニ措
能
固ヨリナリ而シテ日本ハ十分
成ヲ得サ
ハカ
ラ

ノ獨立ヲ行ハシメヨク
ハ本ハ其冀望ヲヤセヨ
本ハ外國ニ向テ哀求ヲ為シ勸解ヲ願ヒ且ツ非常ノ助力
ヲ乞フコトハ固ヨリ夢ヲモ見サルヘシ合衆國ニ於テハ
又タ日本ニ不足欠乏ナル文ノコトハ悉ク日本ノ所為ニ自
カラ聽從スルヲ得ヘシ又タ日本ハ此ノ合衆國ノ行爲
報酬ニ於テ其國カヲ擧テ以テ合衆國ノ補助トナルヘシ
而シテ日本カ總テ東方亞細亞ノ鎖鑰ヲ掌握シ現今成立
セル障礙ヲ排散スルノ方法ヲ有セリト假定スルハ歐
人ノ利益ハ衰微シ日米ノ利益果シテ如何ツヤ東洋地方
ニ於ケル事物ノ開進ニ注目スルノ人ハ皆ナ此海島帝國
ノ精神カ速ニ東洋諸國ノ上ニ卓越スヘキハ疑フ容レサ
ル所ナリ然リ而シテ若シ米國ヨリシテ相當通例ノ正理

ニ叶シ丈ノ助力ヲ日本ニ為サハ日本モ亦タ其高誼ニ酬
ルニ此等ノ如キ未タ世ニ知ラレサル國ニ勝手ニ入り込
ムヨリ生スル利益ニ於テ相互ニ分配スヘキハ其証ノ最
モ容易キモノナリ
余輩開陳スル所ノ友誼ノ聯合同盟タルヤ雙方相互ニ便
利トナルハ固ヨリ疑フ容レサルナリ而シテ亞細亞ト米
國ノ關係親和ヲ強盛ナラシメ而シテ政治上也商業上也
現今ヨリモ猶ホ一層親密ノ結合ヲ設置スルハ早シ晩シ
免ニ角ニ米國ノ已ムヲ得サルノ義務トナルニ至ルヘシ
但シ余輩若シ此ノ已ムヲ得サルノ時節到来スルノ時ヲ
待ニ於テハ日今直ニ着手スレハ容易ナルヘシ(レ)無数
ノ難ニ逢遇スルキ保セサルナリ且ツ日本ハ其困
難ノ秋ニ於テ友誼ヲ賛成ヲ欲スルハ此時ニ於テ米國ノ

使氣アル、好ハナルハ、米國ニ於テハ曾テ二十五年六
頃、餘ノ外國ト共ニ日ハ、リ奪フタル日本ノ國權ヲ日
本ニ返シ日本ヲシテ其國權ヲ回復セシムルハ、此一
事ノミニテ日本ノ第一ノ必要ヲ得セシムルニ足ルヘキ
ナリ、此事ハ我カ米國ノ為ニハ何事モナク重要ノ事ニア
ラサルモノ、如クナレバ日本ノ為ニハ其關係スル所鮮
少ナラサルナリ、日本ハ又夕自カラ其固有ノ人民ノ内ニ
於テ米國ニ大切ナル商業上ノ特權ヲ許可スルノミナラ
ス猶ホ又夕支那及ヒ其近傍ノ國民等ト盛大ナル貿易ヲ
為スニ輕便ナラシムヘシ、此記ヨリシテ如何ノ處置アル
ヤ謀ラレサレバ到底雙方ノ為ニ利スルモノナルヘシト
余輩ハ信スルナリ、而シテ英國及ヒ自餘反對政府ノ不正
ノ干涉ヲ来サンモ謀ラレサレハ其邪魔ナル面倒ナカラ

ヒ子カ

シカ為ニ此處置ハ至急ニ施行セサルヘカラサルナリ、而
シテ直接ノ舉動ニ於テ前件ヲ處辨セント欲セハ兩國雙
方ノ請求ヲ一体ニ聚合シテ相當ノ定約草案ヲ交付スル
ヨリ善ナルハナシ、而シテ善良ナル感格ヲ發起表章スル為
ニハ枝葉ナル一二些少ノ妨礙ヲ除去スルヲ以テ米國ノ
為ニハ仁惠ナル事柄ナリト為スヘシ例之ハ不幸ナル馬
関ノ償金ノ了ニ付テハ未タ全ク我カ所有ナリトモ決定
セサレバ日本人中稍歐米ノ不正ヲ唱フルモノアリ、此義
ハ瑣々タル小事ナルカ如クナレバ今余輩ノ思考ヨリモ
蓋シ重大ノ關係ヲ有ラレニ至ルヤモ謀リ難シ、而シテ此
金額カ到底米國ノ所有ニ屬セサル以上ハ其固有ノ本人
ニ返却スルヲ最上ノ事トシ、而シテ雙方間ニ何レノ差障
モナキニ至リテ米國政府ハ當今外國交際上最モ有利ノ

計画ヲ為シテ得ヘシ而シテ米國ノ非常ノ精巧勉勵ヲ要
ヤルモ四五年間ニ亞細亞洲ノ貿易ノ大利ヲ得ヘシ加
之現今數百萬弗ノ價格ヲ有セル歐洲製造品ノ亞細亞ニ
於ケルモノ一變シテ米國ヨリ直ニ其運路ヲ取ルニ至ル
ヘシ